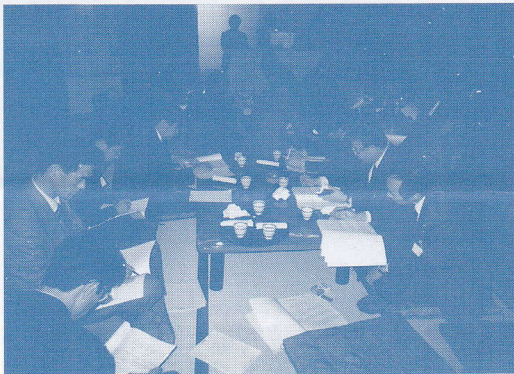


波 紋

1998 2 月 第152号

信 念 会



今年の信念会は、常務の発案により、対談形式での塩ビと環境問題についての講演を行い、5つのグループに分かれて討論をしました。講演では、アキレス(株)小野部長と当社西口による対談形式で、ダイオキシンとは何か、塩ビとダイオキシンの関係等々いろいろ勉強させていただきました。また、その後5つのグループに分かれて、どのように対策したらよいかを討論しました。

メーカーさんや加工屋さんのダイオキシンに対する考えや、取りくみ方などいろいろな意見を聞かせていただき、塩ビのよさを再認識させられ、勇気を与えられたような思いでいっぱいでした。いろいろな意見が出ましたので少し紹介します。

塩ビは日本経済を50年間ささえてきた。これからもだいに育てたい。塩ビ単体で燃やしてデータを取ってみたいいろいろな条件等研究する。高度な焼却処理等。女性に対するPR。メーカー、問屋、加工屋等でのPR活動、

誤解を解く、業界上げてPR、分別の出来る商品作り、リサイクル対策作り、製品に塩ビ表示シールや印刷をする。学校関係、子供をターゲットに説明をする等々さまざまな意見が出ました。全部は紹介できませんが、塩ビ業界には、非常にきびしい風が吹いています、みんなで力を合わせていけば乗り越えていけるように思いました。

今年も1年社長がよく言われる。I LOVE ビニールでがんばっていきます。また今回の講演の資料等何日も前から準備していただいたアキレス(株)小野部長様本当にありがとうございました。段取りをしていただいた常務、西口さんご苦労さまでした。おいしいお酒を飲みすぎてこちよ二日酔いです。

吉岡 孝記



「大変革期'98」

毎年のことですが、一月は新年会が多い。十七日までで十一回出席し(内、ダブルヘッダーが二回も)、とうとうカゼをひいてしまった。

満五十二才になり、残り三十六ヵ月を全力疾走する体力に少し不安を感じる。

今年、末の娘が成人式を迎え、そして保育園への就職が決まり親としての務めも一段落してホッとしているところですが。

仕事の方は相変わらずですが、昨年十二月二十八日営業マン全員休日出勤し、常務を中心に新素材(オレフィン系)の加工研修会を開催し、仕入先フィルム各社の新材料を従来のウエルダーで加工する技術を取得する研修を行いました。営業各人が、自分自身で、ウエルダー加工機を操作し、サンプルを加工したのです。そうする事で自信をもってお客様に新素材を進める事が可能になった。

塩ビが一般的に使われる様になつて四十年ぶりの大変革期を迎える'98年です。

十数年前の石油ショックの時にはEVA(酢ビ)が誕生し。本年はPPやPE系の新素材が新しく生れた。兄貴分の塩ビ同様、今後の成長を楽しみにして見守っていきたい。新素材との出会いが、人と人の出会いのごとく企業の発展に結び付けてゆくと確信しています。

森 信之

トシ君の一方通行

余裕の国 JAPAN

三塚さんという大蔵大臣が大蔵省官僚の原稿棒読みで不興をかつている。私に言わせれば不器用なだけで、今までの大臣がほんの少々記憶力が良かっただけ。自分の言葉で語った大臣は数少ない。もつとも三塚さんは今までの大蔵大臣の中では抜群に経済が分からないので、棒読みが際立った。経済が分からない人が何故大蔵大臣になるかつて？ 今更野暮なことと言っちゃあかん。概ね大臣というものはそんなもんです。運転免許の無い人が運輸大臣やっている、別に飛行機操縦の資格とれとは言わんけどね……英語ができない外務大臣もいた。要は官僚という拔群な記憶力の持ち主がいてしつかり支えてくれるから大臣は務まる訳です。文句を言っちゃあかんのです、政治家を選んだのは、な・な・な・何と国民ですからね！ ところがだ、経営特に中小企業はそうはいかんです。経営者も社員も自分の言葉で語らないとね。第一、官僚みたいに優秀な秘書を雇う余分な経費はありません。景気が良かろうが悪かろうが、税金から確実にお金が入ってくる仕組みはあります。国でいえば政策が間違っていたとしても負担は国民、会社でいえば経営方針が間違っていたら昨今の状況ではへたすりゃ倒産ですわな……。つまりこういうご時世では命懸けなんですわ。昔はいたなあ、命懸けで国を憂いた政治家が。あの人も国民が選び、原稿棒読み大臣も国民が選んだ。日本は余裕があるね。でもどうして会社はこんなに余裕が無いのだろう？

木村英利

森松クインテット

もののけ姫

昨年話題映画に「もののけ姫」という作品がありました。御存知の通り「E.T」が三年かかってつくった記録を、たった三ヶ月で塗り替えてしまった映画です。観られた方も多いと思います。そしてこの映画を観て感じた事も、それぞれでしょうが、私があえて取り上げたいのは冒頭の部分です。この物語の主人公「アシタカ」という若者が住む、のどかな山村が「タタリ神」というばけものに襲われます。

この「タタリ神」というのは、もともとは西の森の守り神の「ナゴの守」であったが、人間に襲われて恨みを持つまま死んでしまった。その「恨み」があまりに大きい為に怨念を持った「タタリ神」になってしまったのである。この「恨み」というのが恐ろしい物で、とにかく「タタリ神」は人を襲う。しかし「タタリ神」を殺すとその人には「死の呪い」がかけられてしまう。それを知っているながら「アシタカ」は「タタリ神」に弓を射る。村を救う為に、そして「死の呪い」をかけられる。

そこからこの物語ははじまります。(物語の内容はまだ観ていない人の為に言いません。誰かさんと違って……)さて「アシタカ」が弓を射って殺した「タタリ神」とは何を意味するのでしょうか。人の心の中にある「自分の思い通りにならないから恨めしい」という自己中心的な心ではないでしょうか。現代人のすさんだ心の中に巣くうのは「タタリ神」です。しかし自分の心の中の「タタリ神」に向かって弓を射れば「呪い」がかけられるかもしれません。それはきつと辛いでしょう。

しかし「本当の人間らしい人生」という物語はそこから始まるのではないのでしょうか。

そしてそれはあなたのまわりの人を救う事になるのです。「恨みつらみ、憎しみ、嫉妬、愚痴」を持ったあなたは、まわりの人をあなたの心の中の「タタリ神」で毒して

います。いますぐに心の中に弓を射つて、まわりの人を救ってあげて下さい。きつとその時あなたの人生観が変わり、すばらしい物語がはじまることでしょう。

(キャラクター) 牧野光昌

喜怒哀楽

冬季オリンピック

二月七日〜十六日、長野にて冬季オリンピックが開幕します。聖火リレーの際トーチの火が何度も消え、替えてからも消えるという珍事があり、ハイテク日本としてははずかしいけれどもオリンピックは開幕します。

たしか札幌冬季オリンピックの時には、風速何メートルの風でも大丈夫と唄い何事もなく聖火はリレーされたと記憶してるのですが、この事が選手の結果に影響がなければいいのにと今は考え、不吉な事は忘れて冬季オリンピックをTVでたのしみたいと思います。

競技種目別で特に期待する人は、スピードスケートの男子で清水、堀井。女子では岡崎はもちろん三宮に特に期待！

ジャンプはもちろんメダルは取るでしょうが、たのしみなのが、六人全員入賞、今回はノーマル(九十メートル)、ラージヒル(七十メートル)ともたのしみです。

「やるじゃん日ノ丸飛行隊」のスポーツ新聞の見出しが今からののしみです。

オリンピックの後の名古屋女子マラソンの千葉真子選手も「がんばれ」。

(シクラメン) 下垣紀一

右 下垣紀一
左 三宮恵利子選手

中国出張

昨年12月20日～23日まで牧野さんと上海に行かせて頂きました。



左から坪井さん、王さん（現地通訳）、牧野さん、楊（ヤン）さん

初日から飛行機が霧で5時間遅れということであまり疲れましたが、この時期には遅れる事は良くあるみたいです。2日目、初めて上海の朝の光景を観ましたが、日曜日でしたので普段より車や人は少ないそうですが、クラクションが鳴りつめて自転車も多くどちらが優先なのか信号も関係ないような、訳のわからない状況に驚いてしまいました。それに車は多くて、ほとんどがサンタナ、日本ではけっこう高い車だと思ってたけれど中国で生産してるから安いんでしょうね。工場見学は草如さん訪問、検品、打ち合わせ、森松に対しての好意的な姿勢を強く感じました。これも今まで行かれた方の努力の結果だと思います。

3日目、1、上海合群皮件有限公司、2、上海皮革箱包廠訪問（国営）。両社とも台湾や日本向けにかなり商売をしているようで日本の厳しい基準等も良く解っている感じでした。縫製品も国営の方はかなり良い物を作っていました。労働力も若い人が多く何でも出来るように思えとても魅力を感じました。

食べ物は日本の中華料理の味付けと変わりなくとても美味しく頂きました。へビ料理等は本当においしいと思いますので次に行かれる方に是非おすすめします。

最後に、この出張で沢山の方との出会いが出来たこと、皆さんの暖かい心遣いに本当に感謝しております。少しでも商売につながるような結果が出せるよう努力していきます。

（シクラメン）坪井秀夫

暮らしのエッセイ ちよつとお散歩に…

ウォーキングが健康のために良いと聞き、秋から母と二人で「夜の散歩」を始めました。夕食の後片付けが終わってから出発して一時間程、歩数にして八〇〇〇歩余りの距離を、週に三、四日のペースで歩いています。初めは短いコースも長く感じ辛かったのですが、今ではその日の出来事を話したり、通りかかる店を見ながら楽しく歩いています。

初詣でも歩いて行こうということになり、紅白が終わってすぐに出発し、地元の神社と観音様にお詣りした後、熱田神宮へ行きました。「あと少し」と励ましながら歩き、家に着いて時計を見ると四時になろうとしていました。万歩計は一万八〇〇〇歩を超えており、自分でも出来るものなんだなあと驚きました。

寒い日がまだ続きますが、歩くことは「よい習慣」だと思いますので、無理しない程度で継続していきたいと思えます。



（サクランポ）谷口 香

平成10年
2月の社内行事

3日(火) 誕生会
4日(水) 稲葉(善)さん誕生日
バスケット大会
(19時)

7日(土) 第一土曜日休み
中高ビ若手スキー

11日(水) 建国記念の日
下垣さん誕生日

14日(土) 第二土曜日休み
村田さん誕生日

15日(日) 改善会議 18時
18日(水) 桜井さん誕生日

19日(木) 牧野さん誕生日
21日(土) 改善発表会 13時

23日(月) 生産会議 17時40分
坂本(芳)さん誕生日

24日(火) 経営会議 16時
営業会議 17時30分

光田さん誕生日
25日(水) 編集会議 17時50分

28日(土) 第四土曜日休み

一月五日 仕事初めの朝。

森松恒例の「書き初め」が行われました。

※全てではありませんがいくつかを紹介します。

(仕事編)

いま・ここ・私・リサイクル
逆風故風上
新製品二点・上市
畜光商品十点
凡事徹底
土木で五千万円
優良新規十件
運賃表の完成
エクセル活用
自分を売込む
こだわり体験
不良在庫0
財務管理
自信・前向き
自分らしく

(プライベート篇)

ホノルルマラソン走る
焼きそばを作る
G120連勝
明るい同居生活
結婚
夫婦で旅行
彼女を作る
家族とのふれあい
テニス月2回(シーズン)
マスターズスイミング出場
何事にも節約
一人前になる
どんでん返しは楽しいね
より善く生きる
いつも笑顔で

編集後記

二月に入っているよいよ
熱くなってきたのが長野
オリンピック。

自称、スポーツ通の私
が目しているのは、ス
ピードスケート。スラッ
プスケートの効果で世界
記録続出の予感。あと、
選手の鍛え上げたふとも
もすごいと思います。

いづれにしても、テレ
ビの前で寒さを忘れて楽
しめそうだ。

妹尾峰男



編集発行者
森松株式会社

編集責任者
妹尾峰男

平成10年2月1日
第152号